

第Ⅲ章 職業のクロスから



日本でもこのところ仕事をもつ母親が増加している。そして、韓国でも今回の調査では働く母親が過半数を占めた。母親が仕事をもつと生活のスタイルが変化し、当然子どもへの対応や母親自身の意識にも専業主婦とは違

いが生じてくると思われる。それでは、そうした母親の意識に日韓での差異もでてくるのだろうか。この章では職業をキーに、検討を進めてみようと思う。

1. 子どもへの配慮

まず母親たちが、日頃子どもたちにどのような心配りをしているのかを、表33でみてみよう。ここで日本の仕事をもつ母親が内職を除いて「ときには夜、外出することもある」と答えているのに対し、韓国の母親は仕事の有無にかかわらず80%以上が外出しないと答えているのが目につく。

次に子どもへの配慮の主なものを、専業主婦について図20で比較してみた。日本の母親

の大多数が「栄養のバランスを考えて食事を作る」というように、子どもの成長や健康への心配りを見せながら、あとの項目はあまりしていないのに対し、韓国の母親は「寝ている間は静かに」したり、「テレビの音に気をつける」「夜食を作ってあげる」など、子どもが勉強しやすいように母親として細やかに心配りし、子どもを一生懸命支えているようにみえる。

図21のフルタイムの母親をみても、韓国の母親は忙しい中で、いくらか数値は低くなるものの、専業主婦と同じように子どもへの配慮をみせている。しかし日本の母親は、ほぼ

専業主婦と変わらない数値であり、全体に子どもの勉強に対しては、ちょっとクールな感じがする。

(表33) 子どもへの配慮 × 職業

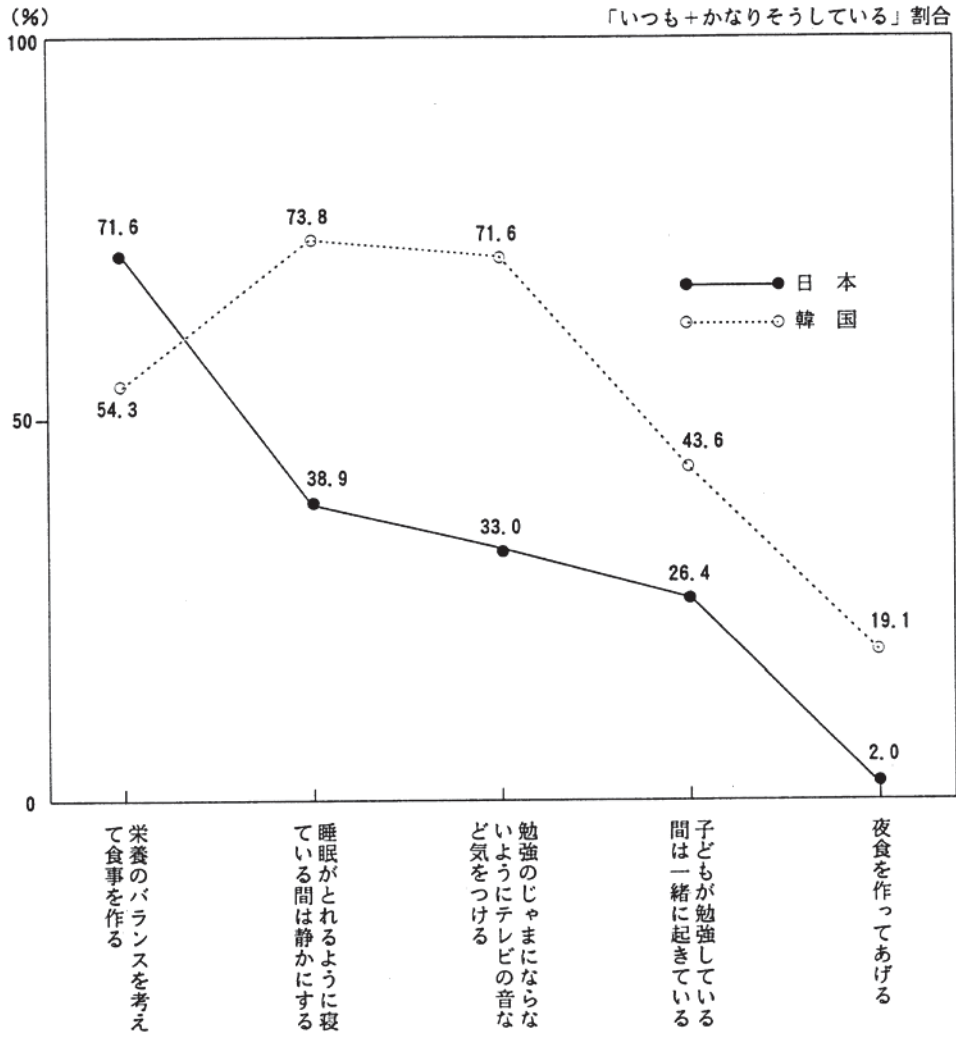
(%)

		全 体	フルタイム	パートタイム	内 職	自家営業	専業主婦
日 本	夜、外出しないようにしている	63.5	49.5	59.5	<u>70.3</u>	56.7	80.4
	栄養のバランスを考えて食事を作る	59.7	53.5	52.4	<u>64.7</u>	58.3	71.6
	睡眠がとれるように寝ている間は静かにする	36.4	36.0	30.6	58.9	38.3	<u>38.9</u>
	勉強のじゃまにならないようにテレビの音など気をつける	29.0	27.8	25.5	35.2	26.0	<u>33.0</u>
	子どもが勉強している間は一緒に起きている	21.3	16.5	18.0	38.2	21.6	<u>26.4</u>
	勉強がうまくいくように神や仏に祈る	6.9	<u>7.5</u>	5.7	23.5	4.1	7.2
	家の手伝いをさせない	5.8	<u>6.0</u>	6.6	2.9	2.5	6.6
夜食を作ってあげる	2.6	3.5	<u>3.3</u>	0.0	2.5	2.0	
韓 国	夜、外出しないようにしている	84.5	81.0	81.1	<u>85.5</u>	82.0	87.5
	栄養のバランスを考えて食事を作る	47.8	45.5	<u>48.6</u>	38.9	41.3	54.3
	睡眠がとれるように寝ている間は静かにする	62.9	55.8	63.9	<u>64.7</u>	53.6	73.8
	勉強のじゃまにならないようにテレビの音など気をつける	64.5	53.5	<u>71.0</u>	69.1	59.5	71.6
	子どもが勉強している間は一緒に起きている	37.8	31.8	40.5	<u>41.5</u>	32.9	43.6
	勉強がうまくいくように神や仏に祈る	39.1	<u>41.8</u>	43.2	40.7	39.0	38.0
	家の手伝いをさせない	16.6	<u>18.7</u>	19.5	11.3	16.1	13.7
夜食を作ってあげる	19.2	15.2	27.0	20.7	<u>22.0</u>	19.1	

「いつも+かなりそうしている」割合
○は最大値 —は2番目

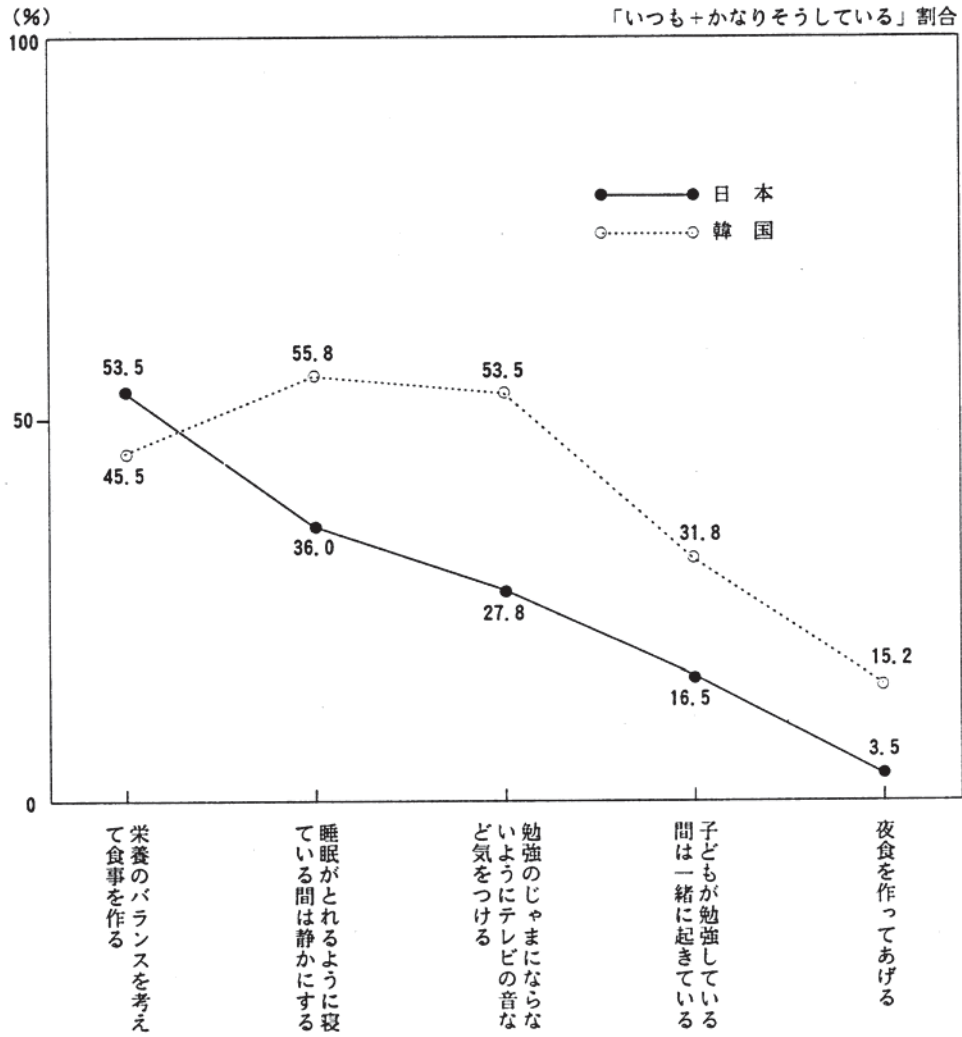
(図20) 専業主婦の子どもへの配慮

→ 韓国のほうが心配り



(図21) フルタイムの母親の子どもへの配慮

→ 韓国のほうが配慮



2. 学歴への思い

1) 学歴期待

受験戦争という言葉は、日本ではもう聞き慣れて久しいが、韓国の大学受験の過熱ぶりもよく知られるところである。そこで次に、母親が子どもたちにどんな学歴を望んでいるのかをみてみよう。

表34をみると、日韓ともに職業に関係なく

最終学歴を高校や専門・専修学校と考えている母親は少なく、多くの母親が高等教育までを望んでいる。しかも、ふつう以上のレベルの大学に行かせたいと思っていることがわかる。

そこで、図22で「入るのがふつうの大学」について、日韓で比較してみた。フルタイムの母親は、日韓でさほど大きな差はみられず

(表34) 学歴期待 × 職業

		(%)					
		全 体	フルタイム	パートタイム	内 職	自家営業	専業主婦
日 本	高校	11.2	11.1	14.4	11.4	9.3	8.3
	専門・専修学校	10.2	8.6	15.3	8.6	8.5	6.6
	短大	12.9	12.6	12.0	17.1	21.2	10.6
	入るのがやさしい大学	5.5	7.6	6.4	5.7	7.6	3.0
	入るのがふつうの大学	47.4	47.5	40.9	40.1	44.1	56.3
	入るのがむずかしい大学	12.8	12.6	11.0	17.1	9.3	15.2
韓 国	高校	0.7	1.4	0.0	1.9	1.3	0.0
	専門・専修学校	4.3	7.6	2.6	7.4	5.0	2.0
	入るのがやさしい大学	5.3	2.8	5.1	11.1	5.0	4.6
	入るのがふつうの大学	50.9	50.7	53.8	59.2	57.9	48.2
	入るのがむずかしい大学	38.8	37.5	38.5	20.4	30.8	45.2

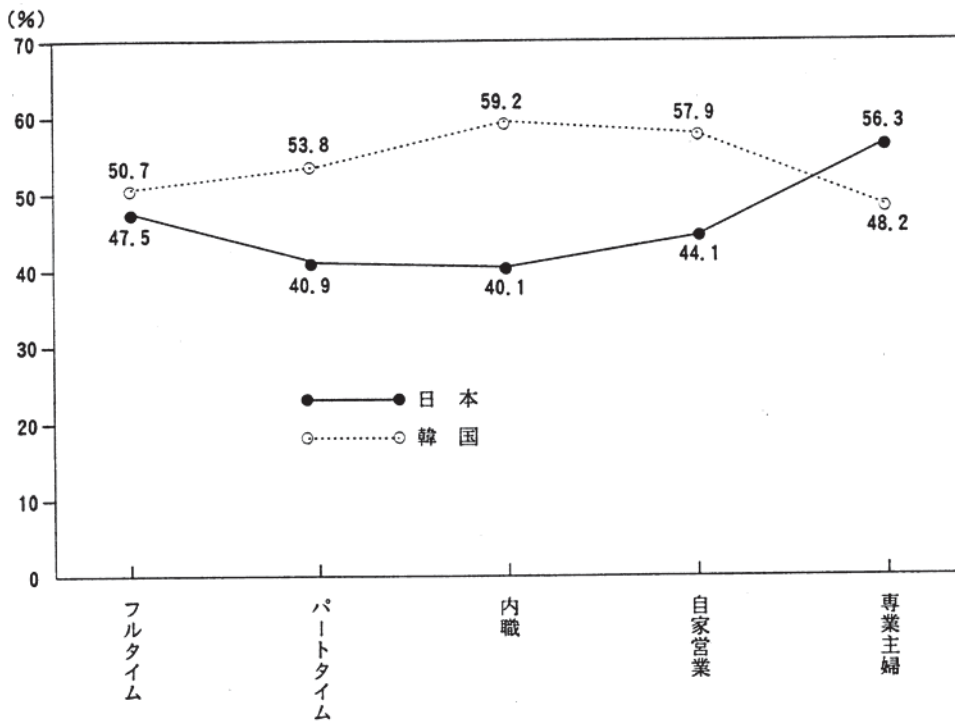
○は最大値

50%前後である。パートタイム、内職、自家営業の母親は日本ではやや低く、韓国が高く
なっている。逆に専業主婦は、日本が56.3%と過半数が望んでいるのに対し、韓国は48.2%とやや低くなっている。

それでは「入るのがむずかしい大学」につ

いてはどうだろうか。図23をみると、韓国の母親と日本の母親との間に、大きな開きがあることがわかる。日本では、先の「ふつうの大学」への希望が一番低かった内職の母親の数値が、ここでは一番高く17.1%、次が専業主婦の15.2%となっているが、全体的に「む

(図22) 入るのがふつうの大学へ行かせたい



ずかしい大学へ行かせたい」と考えている母親は、そう多くない。

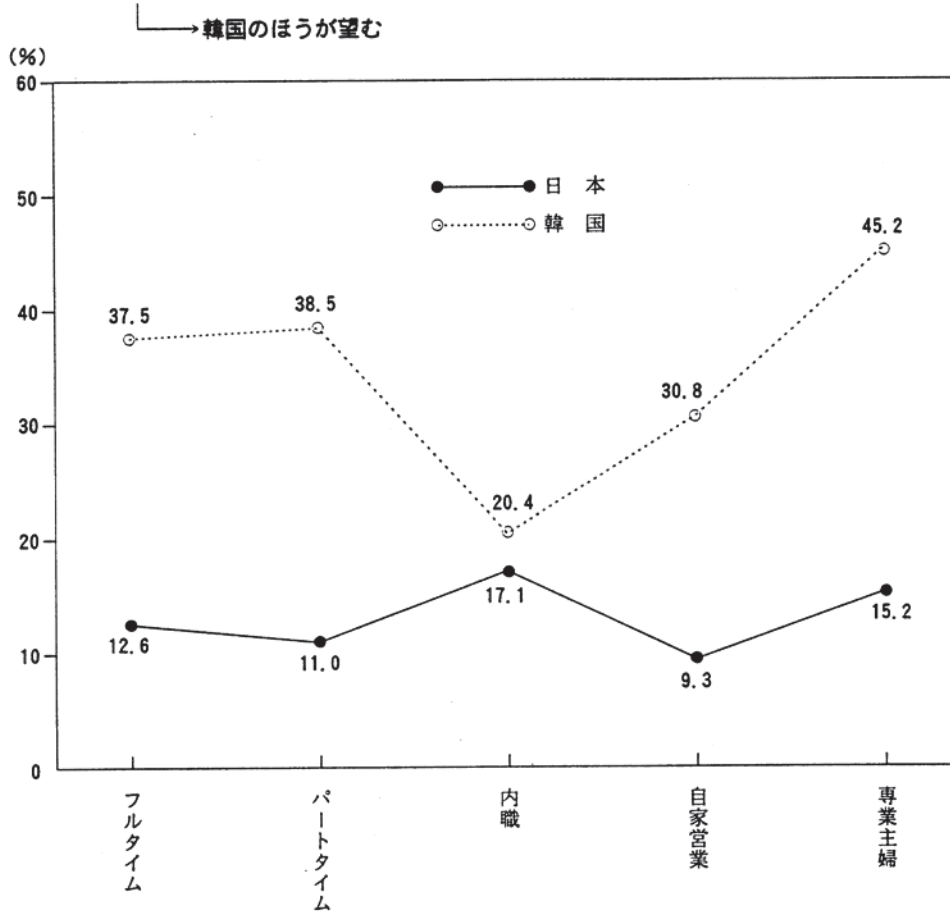
しかし、韓国の母親は内職の母親の数値がいくらか低いものの、自家営業で30.8%、フルタイムやパートタイムでは40%近くが、また専業主婦にいたっては45.2%が「むずかし

い大学」へ行かせたいと考えていた。韓国の大学受験、それも一流の大学への受験の過熱ぶりを垣間みた思いがする。

2) 母親の学歴

ところで、母親の学歴はどうなっているの

(図23) 入るのがむずかしい大学へ行かせたい



だろうか。表35で日本の母親の学歴と職業の関係をみると、フルタイムでは高等教育を受けた母親が50%を占め、そのうち4年制大学卒の母親は25%近くおり、4つのカテゴリー中でもっとも多い。専業主婦も約50%が高等教育を受けているが、そのうち37.8%が短大・専門学校卒で4年制大学卒は13.5%にとどまる。もう少しみていくと、内職の母親で高等教育を受けた者は55.9%と、カテゴリー中でもっとも多く、4年制大学卒も20.6%と、フルタイムに次いで多くなっている。

韓国の母親はというと、フルタイムと専業主婦の母親に4年制大学卒が多く、いずれも3割を超える。また日本に比べて、中学卒の母親も多く、内職の35.3%をはじめ、働く母親に占める割合が比較的高い。専業主婦では1割に満たない。

この母親の学歴と学歴期待(図22、23)を照らし合わせると、4年制大学卒の母親の多い職業で「入るのがむずかしい大学」を望む数値が高くなるというように、微妙に関係のあることがわかる。

(表35) 学歴 × 職業

		(%)					
		全 体	フルタイム	パートタイム	内 職	自家営業	専業主婦
日 本	中学卒	4.2	3.7	4.8	5.9	6.0	3.5
	高校卒	48.3	43.9	59.1	38.2	47.8	44.9
	短大・専門学校卒	30.2	26.2	25.6	35.3	32.5	37.8
	大学卒	16.3	24.6	9.9	20.6	12.0	13.5
	その他	1.0	1.6	0.6	0.0	1.7	0.3
韓 国	中学卒	14.7	17.4	22.2	35.3	16.0	8.3
	高校卒	47.8	40.9	44.4	49.0	56.2	49.7
	短大・専門学校卒	5.4	7.6	2.8	2.0	5.6	6.2
	大学卒	28.4	31.1	16.7	9.8	19.4	33.3
	その他	3.7	3.0	13.9	3.9	2.8	2.5

○は最大値

3. 母として女性として

1) 幸せ感

日本では55.7%の母親が、韓国では44.0%の母親が、今の生活をかなり幸せと感じているが、幸せ感にも職業による差異はみられるのだろうか。

表36から、日本のフルタイム、パートタイム、内職で働く母親に比べて、専業主婦の幸せ感、かなり高いことがわかる。働く母親の中で自家営業の母親の幸せ感が高いのは、

自分で店などを切り盛りする充実感のようなものがあるのかもしれない。

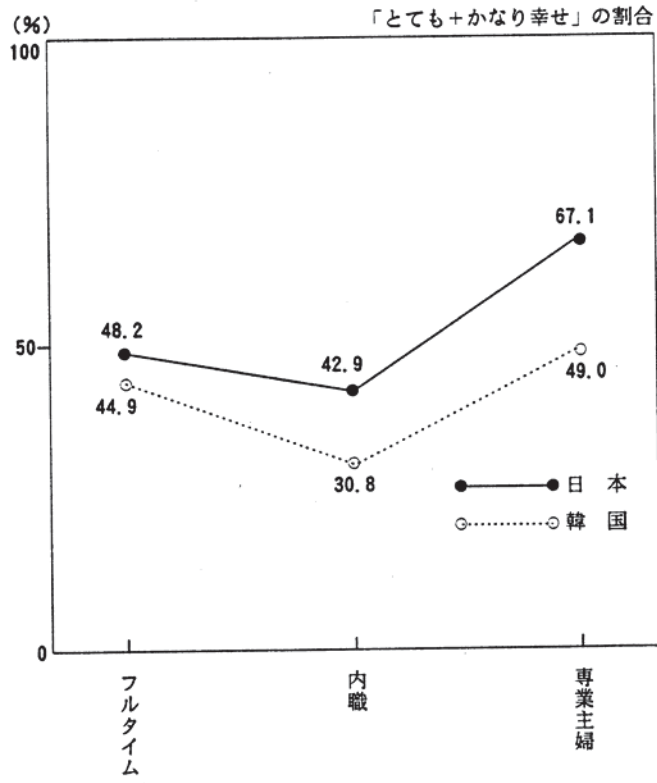
次にフルタイム、内職、専業主婦についての日韓の比較を図24でみると、フルタイムは日韓でほぼ同じくらい、内職は日本の母親の幸せ感がやや高い。専業主婦では、日本の母親が67.1%と、かなり高い割合で幸せといっているのに対し、韓国では49.0%にとどまり日韓の開きが大きい。

(表36) 幸せ感 × 職業

(%)

			全体	フルタイム	パートタイム	内職	自家営業	専業主婦
日 本	幸 せ	とても	17.9	16.9	13.8	14.3	24.0	22.1
		かなり	37.8	31.3	34.2	28.6	38.9	45.0
		やや	38.0	42.3	43.6	48.5	32.2	30.9
	幸 せ で な い	あまり	5.4	8.5	6.9	5.7	4.1	2.0
		ぜんぜん	0.9	1.0	1.5	2.9	0.8	0.0
韓 国	幸 せ	とても	14.9	15.9	5.1	9.6	12.8	16.8
		かなり	29.1	29.0	17.9	21.2	29.5	32.2
		やや	44.3	39.2	59.1	59.6	44.3	42.3
	幸 せ で な い	あまり	10.6	14.5	17.9	9.6	11.5	7.8
		ぜんぜん	1.1	1.4	0.0	0.0	1.9	0.9

(図24) 幸せ感 × 職業



夫のタイプ

表37は夫のタイプを聞いたものであるが、の中から「あなたを大事にしてくれる」という項目を日韓で比較したのが図25である。日本の母親は、専業主婦が一番夫に大事にされていると感じており、フルタイムをはじめく母親の数値はいずれも低い。一方、韓国の母親は、フルタイムの母親も

専業主婦と同じくらい大事にされていると思っており、日本のフルタイムの母親との差が大きい。またどの職業をみても、韓国の母親のほうが日本の母親より、夫が大事にしてくれていると思っているのは興味深い。

次に図26で、妻が仕事をするのを夫がどう思っているかをみると、当然のことながらフルタイムには、妻が仕事することに反対する夫は少なく、逆に専業主婦の夫には多い。

(表37) 夫のタイプ × 職業

(%)

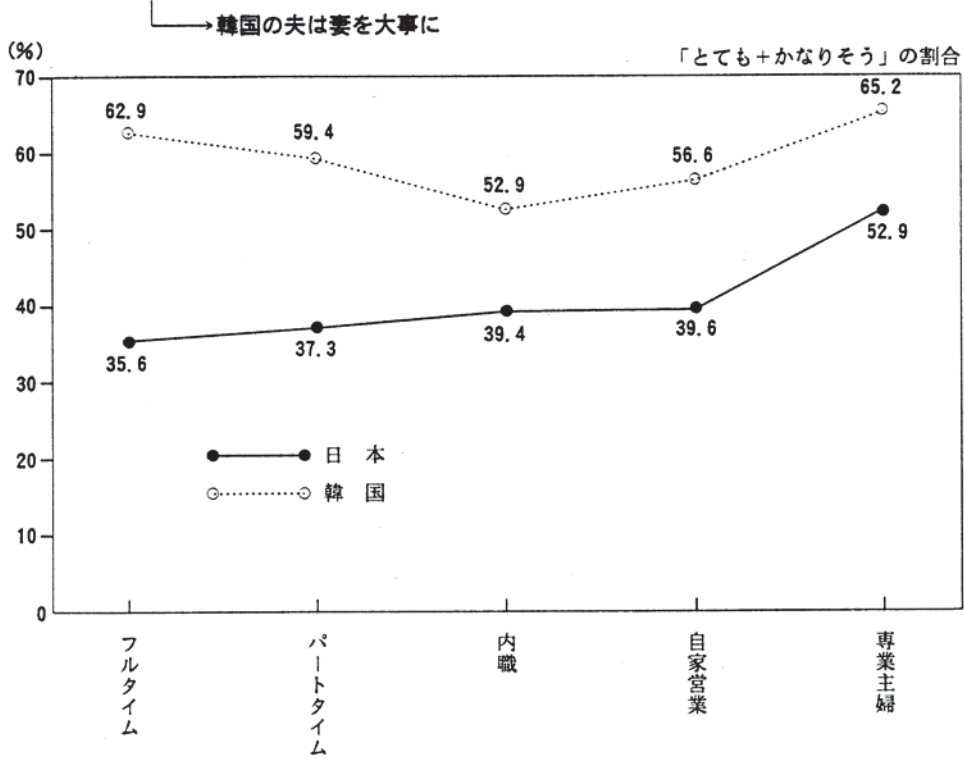
		全 体	フルタイム	パートタイム	内 職	自家営業	専業主婦
日 本	子どもをかわいがる	56.1	53.0	48.8	57.5	61.2	63.7
	子どもから親しまれている	43.9	49.4	36.6	40.7	46.5	48.4
	あなたを大事にしてくれる	42.2	35.6	37.3	39.4	39.6	52.9
	子どもから尊敬されている	43.1	42.8	37.5	51.5	45.7	46.8
	仕事第一で家庭のことをしない	23.2	25.2	22.2	27.3	25.2	22.4
	料理、洗濯などを手伝ってくれる	17.8	28.0	16.9	9.1	14.8	15.2
	妻が仕事をするのは反対	13.7	7.8	6.6	15.2	7.8	27.4
韓 国	子どもをかわいがる	62.4	59.3	64.8	47.1	55.8	68.3
	子どもから親しまれている	60.7	60.8	59.4	47.1	54.5	66.5
	あなたを大事にしてくれる	62.3	62.9	59.4	52.9	56.6	65.2
	子どもから尊敬されている	63.2	65.0	59.4	50.9	57.2	68.3
	仕事第一で家庭のことをしない	15.8	17.7	16.2	15.1	13.1	17.1
	料理、洗濯などを手伝ってくれる	18.9	25.0	18.9	19.2	22.8	15.1
	妻が仕事をするのは反対	30.7	15.2	29.7	22.7	19.2	42.0

「とても+かなりそう」の割合
○は最大値

韓国の専業主婦では、その割合が42.0%とかなり高く、夫の反対で仕事をしたくてもでき

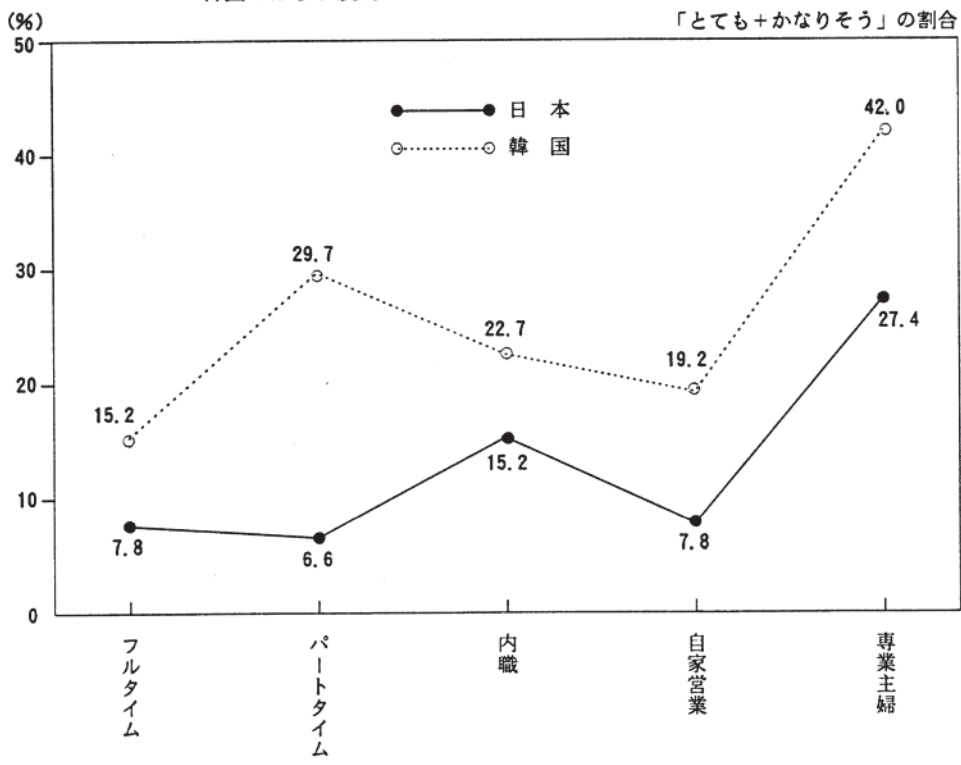
ないという母親も多いのかもしれない。

(図25) 「あなたを大事にしてくれる」夫



(図26) 「妻が仕事をするのは反対」の夫

→ 韓国のほうが反対



3) もう一度、女性として生きるなら

母親たちは現在の生き方をどうとらえ、かなうとするなら本当はどう生きたいと思っているのだろうか。表38に全体像を示したが、この中から女性の生き方として大きく、

- ①専業主婦としてよき妻、やさしい母親になる
- ②常に自分を磨き、教養豊かな賢い母親になる
- ③結婚後も仕事をもち、経済的に自立した女性になる

の3つを取り出し、図27に示した。

「①よき妻、やさしい母親になりたい」と考える母親は、韓国では内職の母親、次に自家営業、続いてフルタイムというように働く母親が多く、専業主婦が一番少ない。また、フルタイムの母親の中に専業主婦になりたいという母親が50%近くもいて、日本のフルタイムの母親との間に意識の差が感じられる。日本では家にいる母親がこの生き方を望み、フルタイムやパートタイムのように家の外で働く母親は、もう一度女性として生きるとしても、専業主婦にはならないと答えている。

次に、「②教養豊かな賢い母親になりたい」のグラフをみると、全体に韓国の母親の数値が20数%高いものの、日韓ともにどの職業の母親もほぼ同じ割合である。

③の「経済的に自立した女性になりたい」のは、日韓ともにフルタイムの母親に多い。日本の場合、次に多いのはパートタイムで、内職や専業主婦など家にいる母親は、この生

き方をあまり望んでいない。一方、韓国では専業主婦が2番目に多く、先にみた夫のタイプの中で、仕事をしたくても夫の反対でできない専業主婦がいるのではないかと、という疑問がはからずも肯定される結果となった。

こうしてみると、日本の仕事をもつ母親は、フルタイムの母親に代表されるように忙しくても子どもに対しては、その生活スタイルの中でできる配慮をし、少しクールに自分や回りを見つめながら、今の自分を肯定して生きているように思う。そして専業主婦は、子どもに配慮しながら、とってやみくもに尽くすというのでもなく、夫に大事にされ、幸せ感を感じながら生きている。

韓国の母親は、働く母親も専業主婦も、まずは子どもが勉強しやすいように一生懸命支え協力していた。そのためフルタイムの母親に十分に支えられないという気持ちがあるのか、できるなら専業主婦として生きてみたいという母親も多い。その一方で、専業主婦の母親の中には、今の生活は子どもや夫のために自分を殺しているという思いがあるのか、できるなら「経済的に自立した女性」や「高い学歴を身につけ男性と同じように社会で活躍する女性」になりたいという母親が少なくない。

このように、職業を通して見たときに日本の母親は自分に合った生き方ができているようであり、その意味で韓国の母親にはまだゆらぎがあるように思われる。

(表38) もう一度女性に生まれたら × 職業

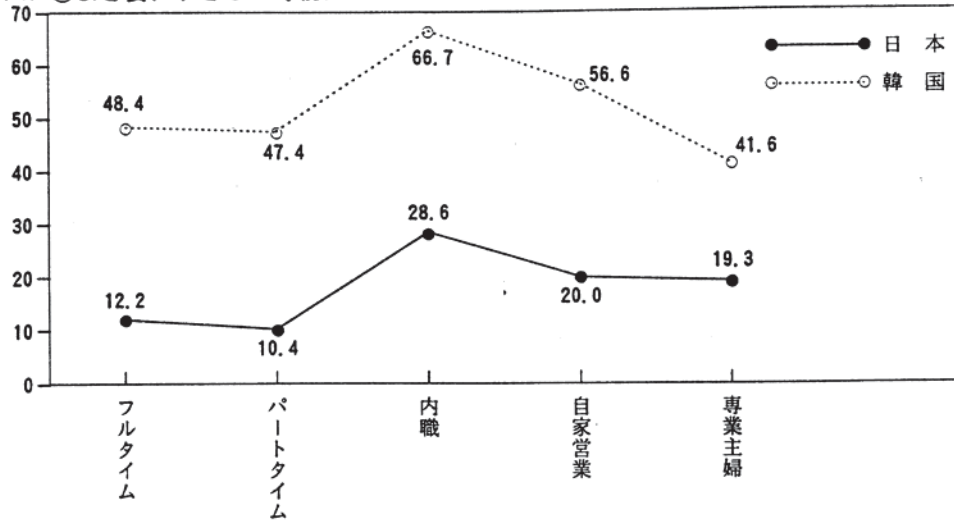
(%)

		全 体	フルタイム	パートタイム	内 職	自家営業	専業主婦
日 本	専業主婦としてよき妻、やさしい母親になる	15.4	12.2	10.4	28.6	20.0	19.3
	常に自分を磨き、教養豊かな賢い母親になる	29.0	30.2	26.7	31.4	31.1	29.2
	結婚後も仕事をもち、経済的に自立した女性になる	22.9	38.5	26.2	8.6	19.3	14.0
	高い学歴を身につけ、男性と同じように社会で活躍する	11.3	21.5	10.6	11.4	8.3	7.6
	親を大事にして、家族、親戚と仲よくする	31.7	34.7	29.0	40.0	38.3	30.5
韓 国	専業主婦としてよき妻、やさしい母親になる	48.2	48.4	47.4	66.7	56.6	41.6
	常に自分を磨き、教養豊かな賢い母親になる	53.4	54.0	50.0	55.6	55.2	53.5
	結婚後も仕事をもち、経済的に自立した女性になる	31.4	35.2	16.2	25.9	32.6	32.7
	高い学歴を身につけ、男性と同じように社会で活躍する	35.4	33.6	26.3	28.3	38.7	37.0
	親を大事にして、家族、親戚と仲よくする	43.6	53.5	39.5	42.6	53.1	36.5

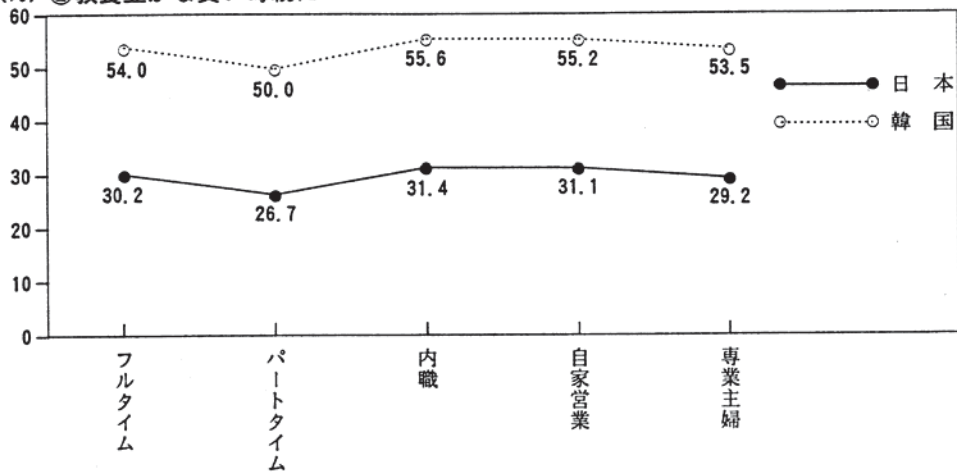
「ぜひそうしたい」割合
○は最大値

(図27) もう一度女性に生まれたら

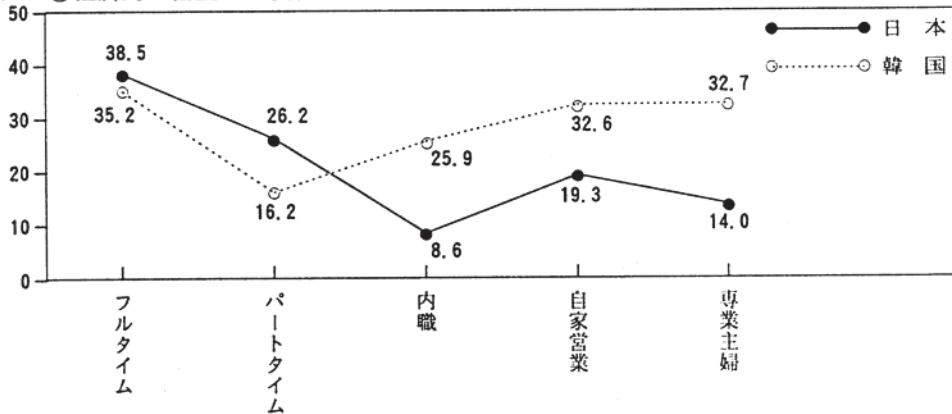
(%) ①よき妻、やさしい母親に



(%) ②教養豊かな賢い母親に



(%) ③経済的に自立した女性に



第IV章 学歴との関連から



すでに高学歴化の進んでいる日本社会と、日ごとに高学歴化する韓国社会は、世界の中でももっとも受験勉強のきびしい社会として知られる。

こうした社会的背景の中で、母親たちは子どもの教育をどのようにとらえているのだろうか。ここでは「母親の学歴」を手がかりに日本と韓国の比較をとりながら考察したい。

1. 進学について

1) 成績意識

表39は、母親の学歴の違いによって子どもの成績に対する意識に違いがあるかどうかを示したものである。また図28は、「とても」と「かなり気にする」を加えて図化したもので、日本と韓国の比較を示した。

図28によると、日本の母親の「成績を気にする」割合は、中学卒9.5%<高校卒14.0%

<短大・専門学校卒22.2%>大学卒17.0%にとどまっている。一方、韓国は中学卒58.7%<高校卒63.6%>短大・専門学校卒63.8%<大学卒67.1%と、学歴が上がるにしたがい、その割合も徐々に上がっているが、大学卒を100とした場合でも中学卒87.5%と、学歴による差はあまりないことがわかる。

日本の母親が「成績を気にする」割合がわりと低いのにに対し、韓国の母親の割合が高い

のは、現在の成績が今後の学歴、さらに職業選択へとつながっていくと考えるものと思われる。

こうした「成績意識」は、日本の母親に比べて学歴を超えて大きな開きがあるといえよう。

2) 学歴観

表40に全体像を示したが、図29では、表中の上位6位までをとって日本と韓国の母親たちの学歴による評価の開きを示した。

「わき目もふらずに勉強しないと一流大学に入れない」は、日韓の中学卒、大学卒という4者共通のようだが、「現代は高学歴者優遇社会」、さらに「財産を残すより学歴をつけさせたい」では、韓国の母親のほうがそう思っている割合が多い。

また「女子にも男子と同じレベルの学歴をつけさせたい」では、日本の中学卒7.3%に対し、大学卒は42.2%と、母親の学歴による差が、かなり大きい。

一方韓国は、中学卒51.4%、大学卒52.1%

(表39) 成績意識 × 学歴

		(%)				
		全 体	中学卒	高校卒	短大・ 専門学校卒	大学卒
日 本	とても気にする	3.1	9.5	1.6	4.3	3.0
	かなり気にする	13.9	0.0	12.4	17.9	14.0
	やや気にする	54.6	59.6	58.0	52.9	47.0
	あまり気にしない	26.2	23.8	27.0	22.9	32.3
	ぜんぜん気にしない	2.2	7.1	1.0	2.0	3.7
韓 国	とても気にする	22.3	22.8	19.9	23.8	25.5
	かなり気にする	40.0	35.9	43.7	40.0	41.6
	やや気にする	32.3	35.1	32.6	28.6	28.2
	あまり気にしない	5.0	5.3	3.5	7.1	4.1
	ぜんぜん気にしない	0.4	0.9	0.3	0.5	0.6

○は最大値

と学歴による差はみられず、日本の中学卒より韓国の中学卒の母親の「女子の学歴」に対する期待が高いのは、韓国のほうが全体として学歴を高く評価しているからであろうか。

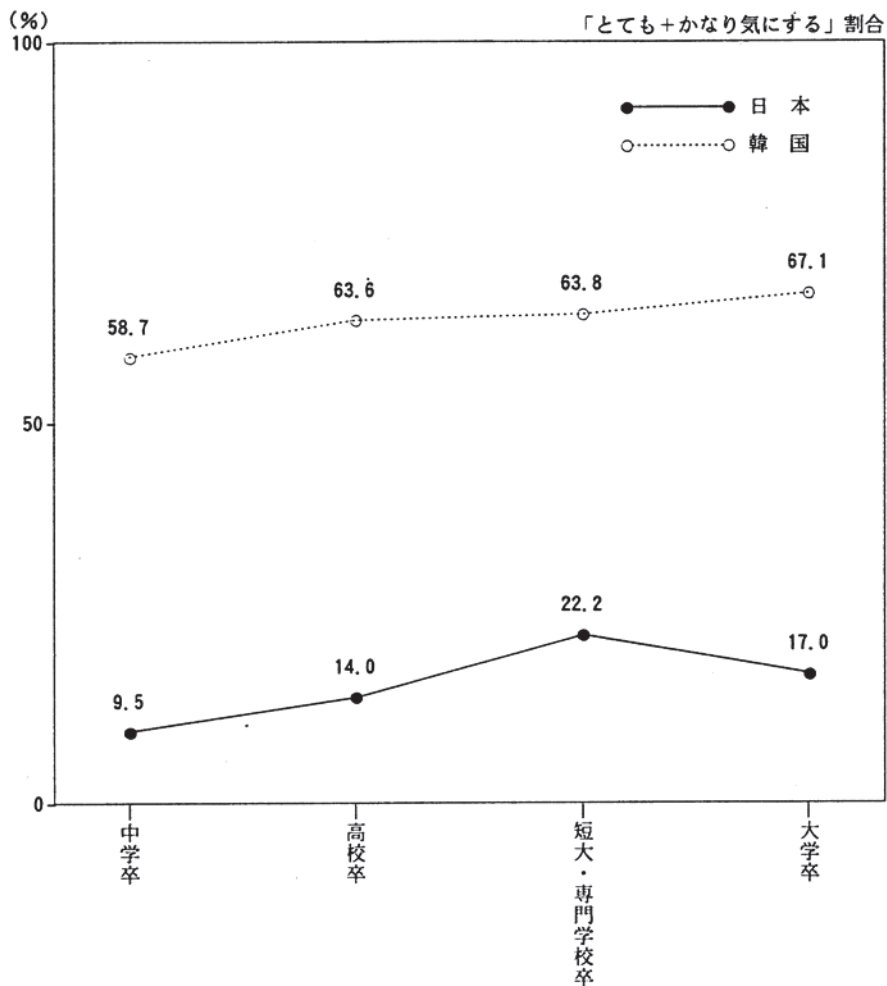
3)進学期待

それでは、実際に子どもに対して、どの程

度の学歴を期待しているのかを表41に示した。図30に「入るのがむずかしい大学」への期待を日韓ともに学歴別に示した。高学歴の母親がむずかしい大学への進学を子どもに望むのは日韓に共通している。しかし、そうした思いは韓国の母親のほうに多いのは図の示す通りである。

(図28) 「成績を気にする」 × 学歴

→ 韓国のほうが気にする



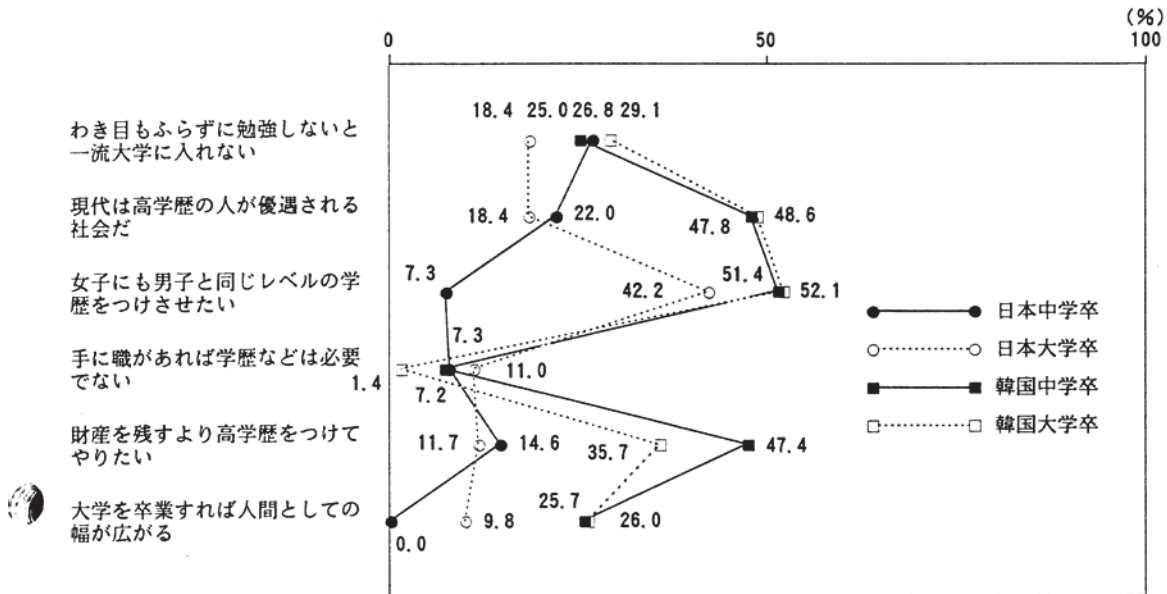
(表40) 学歴観 × 学歴

(%)

		全 体	中学卒	高校卒	短大・ 専門学校卒	大学卒
日 本	わき目もふらずに勉強しないと一流大学に入れない	25.6	26.8	27.9	26.3	18.4
	現代は高学歴の人が優遇される社会だ	25.3	22.0	27.4	24.9	18.4
	女子にも男子と同じレベルの学歴をつけさせたい	16.7	7.3	9.8	16.1	42.2
	手に職があれば学歴などは必要でない	9.7	7.3	9.6	9.3	11.0
	財産を残すより高学歴をつけてやりたい	9.5	14.6	7.5	9.7	11.7
	大学を卒業すれば人間としての幅が広がる	6.2	0.0	4.8	7.7	9.8
	一流大学を卒業すれば将来が約束される	6.0	4.9	6.7	4.3	4.9
	大学はどの大学を卒業しても変わりはないと思う	4.6	9.8	5.0	3.0	3.1
	大学を出ていないと肩身がせまい	4.3	4.9	4.4	4.0	3.7
できることなら外国の大学へ入れてあげたい	2.6	2.4	1.0	2.3	8.1	
韓 国	わき目もふらずに勉強しないと一流大学に入れない	25.6	25.0	24.0	19.0	29.1
	現代は高学歴の人が優遇される社会だ	46.8	47.8	47.8	36.6	48.6
	女子にも男子と同じレベルの学歴をつけさせたい	52.0	51.4	53.0	42.9	52.1
	手に職があれば学歴などは必要でない	3.3	7.2	3.3	0.0	1.4
	財産を残すより高学歴をつけてやりたい	49.2	47.4	50.4	38.1	35.7
	大学を卒業すれば人間としての幅が広がる	23.3	25.7	20.4	21.4	26.0
	一流大学を卒業すれば将来が約束される	25.5	24.8	25.5	16.7	26.5
	大学はどの大学を卒業しても変わりはないと思う	3.0	4.5	3.5	2.4	1.4
	大学を出ていないと肩身がせまい	14.9	9.9	12.7	7.1	22.4
できることなら外国の大学へ入れてあげたい	7.3	6.3	6.5	9.5	8.7	

「とてもそう思う」割合
○は最大値

(図29) 学歴観 × 学歴 (上位 6 位)

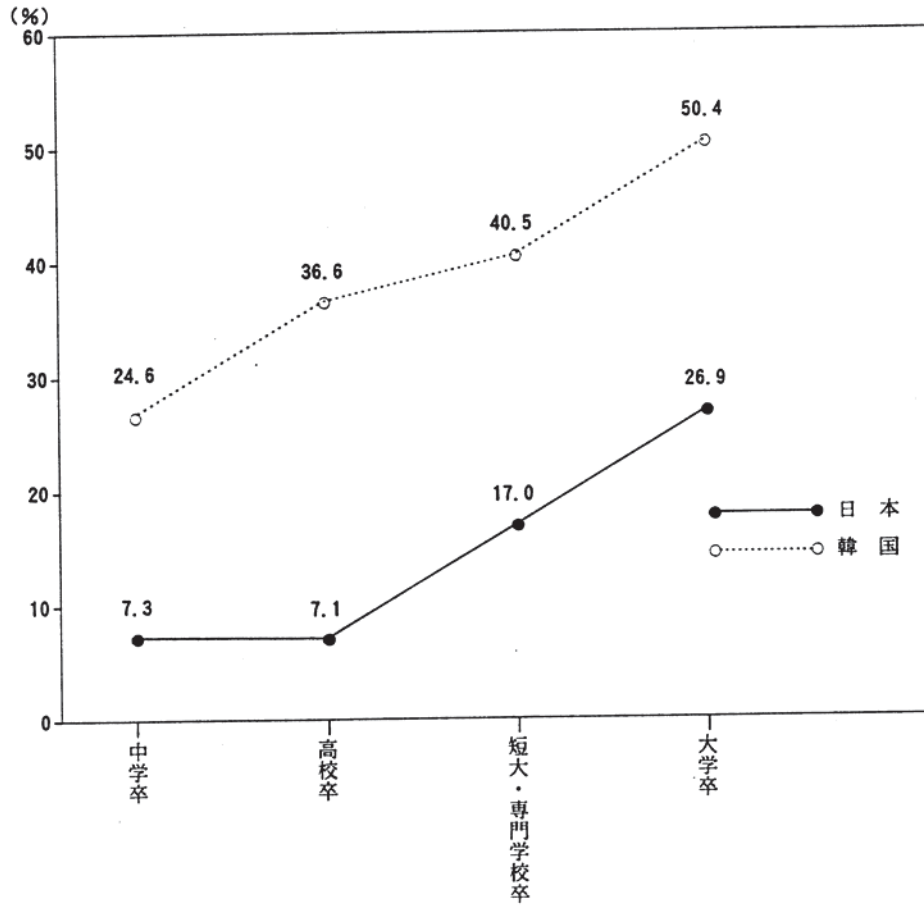


(表41) 進学期待 × 学歴

		(%)				
		全体	中学卒	高校卒	短大・ 専門学校卒	大学卒
日 本	高校	11.2	41.5	13.4	4.4	5.8
	専門・専修学校	10.2	19.5	13.2	8.5	0.6
	短大	12.9	17.1	16.2	11.6	4.5
	入るのがやさしい大学	5.5	0.0	6.7	5.1	4.5
	入るのがふつうの大学	47.4	14.6	43.4	53.4	57.7
	入るのがむずかしい大学	12.8	7.3	7.1	17.0	26.9
韓 国	高校	0.7	1.8	0.3	0.0	0.0
	専門・専修学校	4.3	7.9	6.0	4.8	0.5
	入るのがやさしい大学	5.3	7.9	4.3	7.1	3.7
	入るのがふつうの大学	50.9	57.8	52.8	47.6	45.4
	入るのがむずかしい大学	38.8	24.6	36.6	40.5	50.4

○は最大値

(図30) 入るのがむずかしい大学への進学期待



2. 子どもの将来に期待するもの

1) 子どもの将来への見通し

母親は子どもの将来を期待し、さまざまな見通しをたてながら子育てをしている。

表42によると、「ふつう程度の暮らし」ができ、「親を大事にして、よい父親母親となって、きちんと子育て」をし、「幸せな家庭を作る」といった「平凡」ではあるが「幸せ」な子どもの姿を見通している態度は日韓に共通している。つまり、国を超え学歴を超えて親の気持ちは変わらないのであろう。

それでは、「広い庭のある大きな家に住む」のような「豊かさ」や「成功」のイメージへの見通しはどうだろう。

図31に示されるように、「ぜったい+たぶんなれる」の割合で、日本は中学卒の18.9%が最大で、母親の学歴が上がるにしたがってその割合は小さくなり、韓国は中学卒の28.6%が最小で、日本とは反対に母親の学歴が上がるほど、その割合は増加している。

特に大学卒との差は大きく、日本の約5倍の割合が示されており、韓国では高学歴の母親が学歴の効用を認めている。こうした差の根底には、母親たちの「学歴信仰」があり、それが子どもに対する「進学期待」の高さとなると考えられる。

2) 教師への期待

学校への期待の1つに「教師」に対する期待がある。

表43の中から大学卒にしぼった反応を図32に示した。日本と韓国の母親とも割合に多少の差はあるものの、同じような軌跡をたどっている。そうした中で「部活動の指導を熱心にする」では、日本の15.4%に対し、韓国は34.1%と2倍の期待が示され、さらに「言葉づかいや礼儀作法まで教えてくれる」に至っ

ては、日本はわずか7.4%の期待なのに対し、韓国は60.2%と、はるかに高い期待をしている。

したがって、「指導力」「人間性」「豊富な知識」などの教師の資質には、日韓の共通した期待があるといえるが、日本の母親は子どもへの理解を教師に望んでいる。それに対し「家庭学習の仕方」への指導や「部活動」の指導、「礼儀作法」の指導などには日韓に相反するものがあり、韓国の母親は学習面から礼儀作法に至るまで、あらゆる期待を教師にかけていると思われる。

こうした背景には、基本的には学校を信頼し、学校に頼ろうとする、そうした韓国の母親の態度が感じられる。

3) 子どもへの配慮

子どもが集中して勉強ができるように母親はいろいろと気をつかい、さまざまな配慮を払っている。

表44によると、日本の場合、中学卒の母親のほうに「いつもそうしている」割合が最大値を示すことが多く、高校卒以上の母親より子どもへの配慮をよりしていることがわかる。

一方、韓国は「栄養管理」を除くすべての項目の示す割合は、日本に比べはるかに高く、母親の学歴の高いほうが、より子どもへの配慮が行き届いている様子が示されている。

図33は、表44の大学卒を比較したものだが、「栄養のバランスを考えて食事を作る」では日本31.9%、韓国22.6%と日本の大学卒のほうが高いが、「夜、外出しないようにしている」は、日本の20.0%に比べ韓国は53.5%とはるかに高く、「勉強がうまくいくように神や仏に祈る」では、日本の3.7%に対し、韓国26.3%と高い割合が示されている。その他もこれほどの差はないにせよ、韓国の大学卒

(表42) 子どもの将来への見通し × 学歴

(%)

		全 体	中学卒	高校卒	短大・ 専門学校卒	大学卒
日 本	ふつう程度の暮らしはできる	53.5	65.0	55.7	53.0	50.9
	親をととても大事にする人になる	47.7	48.7	52.2	47.3	38.8
	よい父母としてきちんと子育てをする	49.6	55.0	50.2	48.5	53.1
	よい夫・妻として幸せな家庭を作る	51.4	48.7	49.8	55.8	54.7
	広い庭のある大きな家に住む	9.9	18.9	10.7	8.5	8.5
	社会的に尊敬される大きな仕事につける	11.5	10.5	12.9	11.2	13.9
	大企業に入り、職業人として活躍する	11.2	15.4	11.8	13.4	11.3
	一流大学を出て社会的に活躍できる	10.7	2.6	11.6	10.7	12.0
国 外	ふつう程度の暮らしはできる	68.4	63.4	68.1	75.6	71.3
	親をととても大事にする人になる	74.5	72.8	75.6	73.8	70.5
	よい父母としてきちんと子育てをする	67.1	59.4	65.8	80.9	72.5
	よい夫・妻として幸せな家庭を作る	77.2	77.9	75.3	70.8	80.9
	広い庭のある大きな家に住む	38.0	28.6	35.6	38.1	44.6
	社会的に尊敬される大きな仕事につける	48.2	41.9	47.2	51.2	50.5
	大企業に入り、職業人として活躍する	45.4	41.7	40.9	53.7	53.4
	一流大学を出て社会的に活躍できる	48.7	40.5	46.5	65.3	55.2

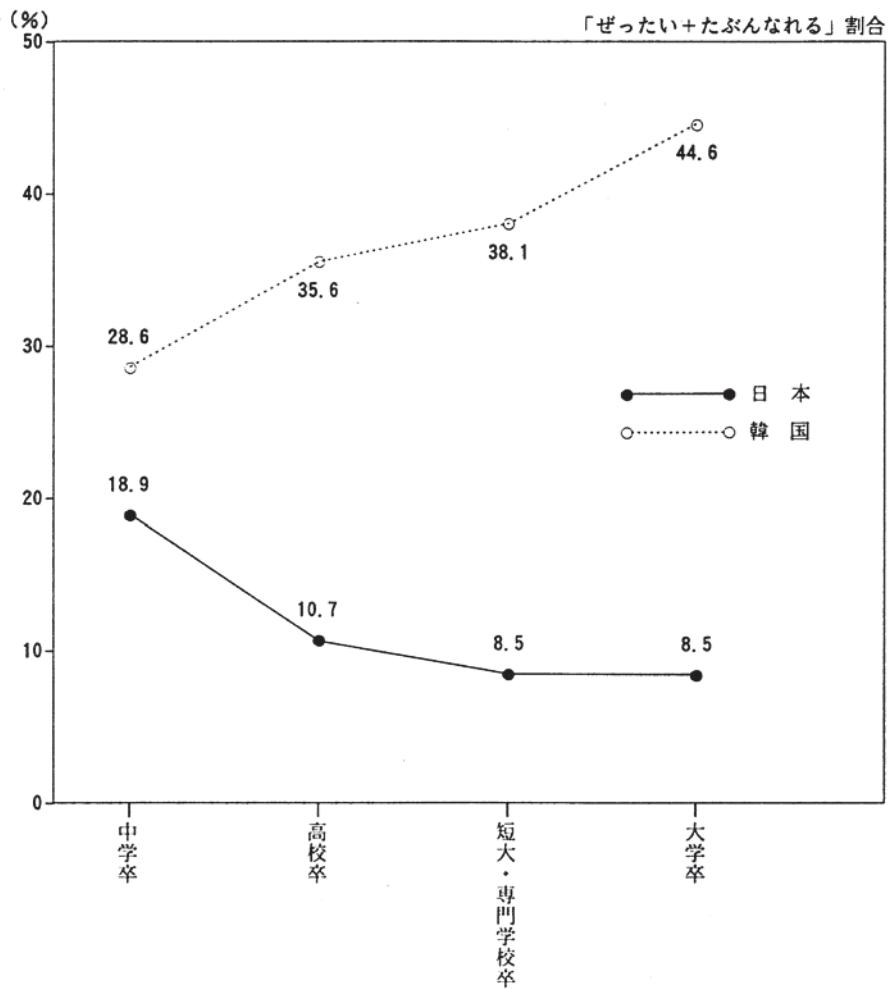
「ぜったい+たぶんなれる」割合
○は最大値

の母親のほうが、勉強中の子どもに対しさまざまな配慮をしているといえよう。

こうした結果は、韓国の母親の進学熱の高さと比例するとも考えられるが、日本の大学

卒の母親のほうが受験や進学を子どもの問題としてとらえ、母親自身のスタンスから距離をおいてみようとする姿勢ができてきたようにも考えられる。

(図31) 「広い庭のある大きな家に住む」可能性 × 学歴



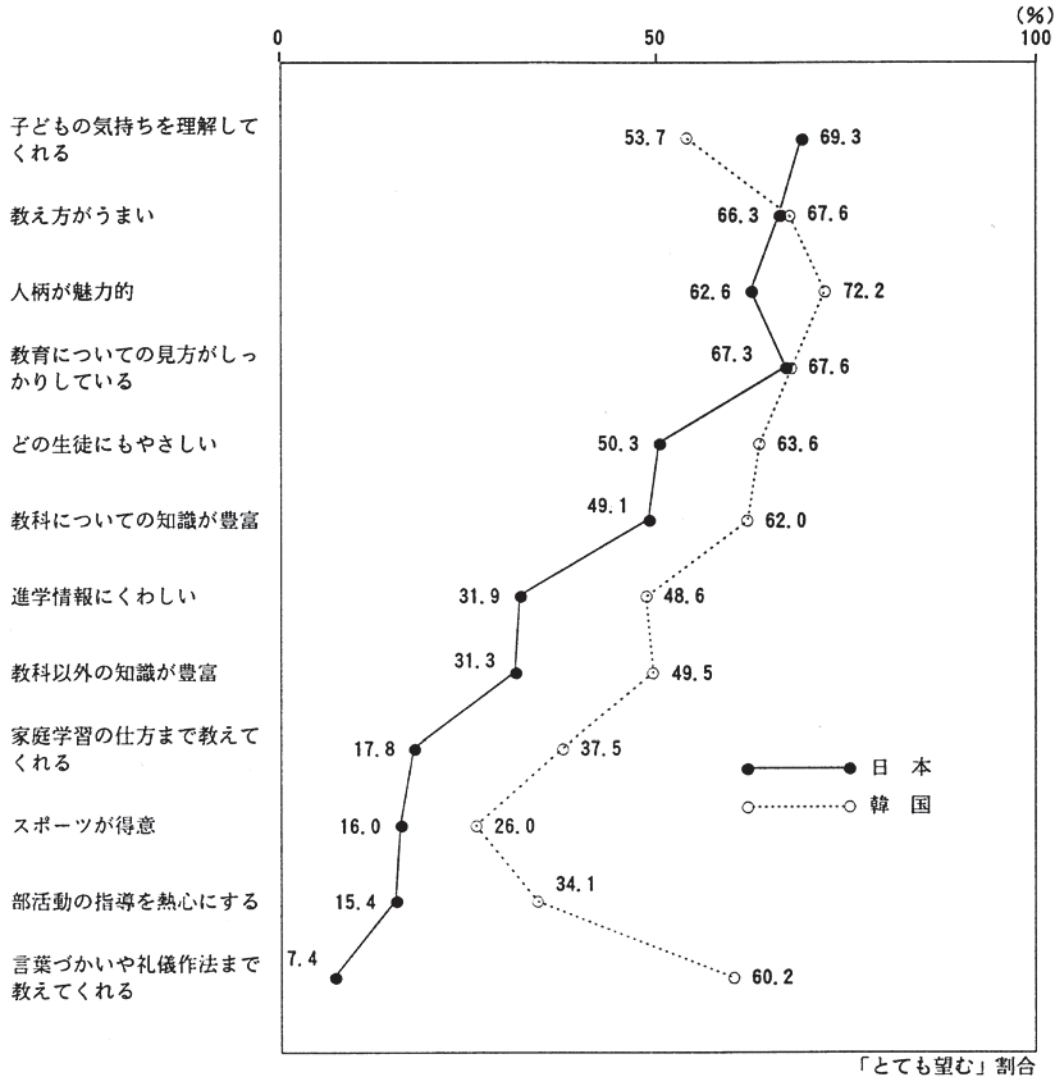
(表43) 教師への期待 × 学歴

(%)

		全 体	中学卒	高校卒	短大・ 専門学校卒	大学卒
日 本	子どもの気持ちを理解して くれる	71.2	56.1	70.7	75.7	69.3
	教え方がうまい	60.8	51.2	58.5	63.8	66.3
	人柄が魅力的	56.2	36.6	54.3	61.3	62.6
	教育についての見方がしっ かりしている	52.7	31.7	49.3	54.7	67.3
	どの生徒にもやさしい	49.1	43.9	49.7	46.8	50.3
	教科についての知識が豊富	38.0	24.4	34.4	40.0	49.1
	進学情報にくわしい	37.7	34.1	40.3	37.0	31.9
	教科以外の知識が豊富	26.8	22.0	26.2	27.6	31.3
	家庭学習の仕方まで教えて くれる	24.7	26.8	25.7	25.9	17.8
	スポーツが得意	17.0	17.1	20.5	13.6	16.0
韓 国	部活動の指導を熱心にする	16.5	22.0	18.3	14.0	15.4
	言葉づかいや礼儀作法まで 教えてくれる	12.5	19.5	14.6	10.6	7.4
	子どもの気持ちを理解して くれる	43.2	38.2	37.6	45.2	53.7
	教え方がうまい	59.2	53.6	56.2	57.1	67.6
	人柄が魅力的	67.0	64.0	65.5	64.3	72.2
	教育についての見方がしっ かりしている	56.4	49.5	53.2	57.1	67.6
	どの生徒にもやさしい	63.3	63.4	64.4	58.5	63.6
	教科についての知識が豊富	57.0	48.7	56.8	58.5	62.0
	進学情報にくわしい	41.3	37.3	39.2	41.5	48.6
	教科以外の知識が豊富	45.3	30.6	46.8	51.2	49.5
家庭学習の仕方まで教えて くれる	30.6	27.3	27.3	26.2	37.5	
スポーツが得意	22.1	21.1	20.1	28.6	26.0	
部活動の指導を熱心にする	26.0	18.3	24.6	31.0	34.1	
言葉づかいや礼儀作法まで 教えてくれる	52.1	45.9	49.6	52.4	60.2	

「とても望む」割合
○は最大値

(図32) 教師への期待 × 大学卒



(表44) 子どもへの配慮 × 学歴

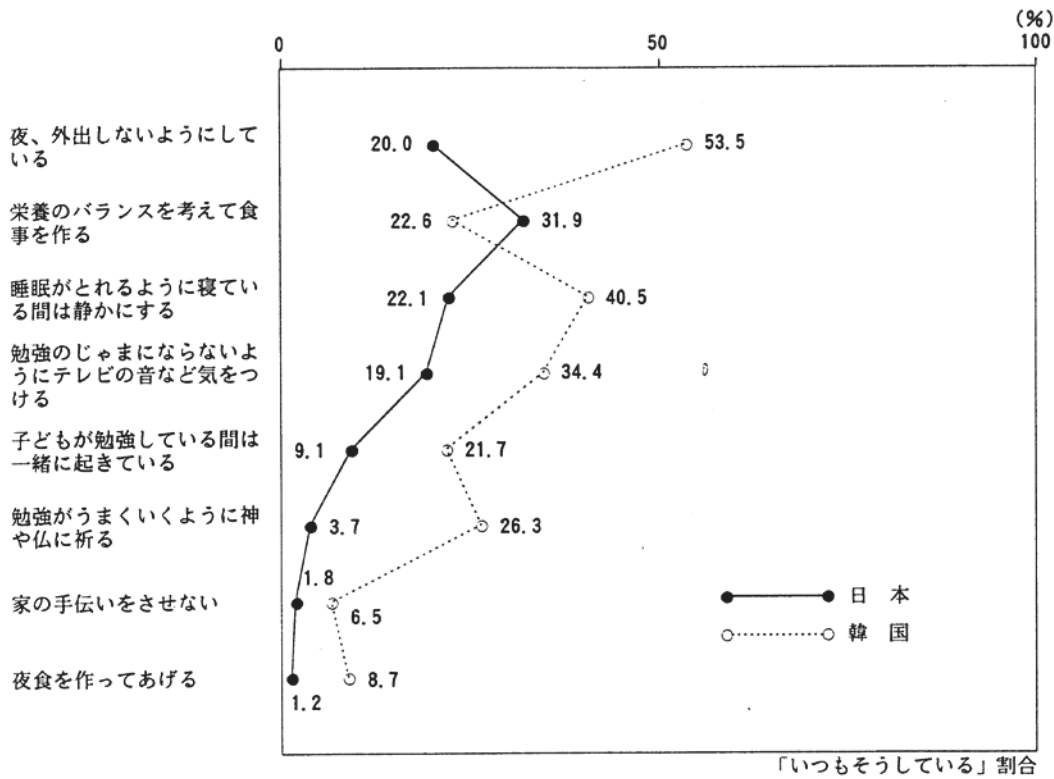
(%)

		全 体	中学卒	高校卒	短大・ 専門学校卒	大学卒
日 本	夜、外出しないようにしている	39.2	34.1	38.2	41.3	20.0
	栄養のバランスを考えて食事を作る	22.5	22.0	17.8	23.9	31.9
	睡眠がとれるように寝ている間は静かにする	17.7	24.4	15.8	17.0	22.1
	勉強のじゃまにならないようにテレビの音など気をつける	11.0	12.2	7.7	12.0	19.1
	子どもが勉強している間は一緒に起きている	10.0	12.2	10.0	9.6	9.1
	勉強がうまくいくように神や仏に祈る	4.0	7.3	5.0	3.0	3.7
	家の手伝いをさせない	1.4	2.5	1.9	0.3	1.8
	夜食を作ってあげる	0.9	0.0	1.0	0.3	1.2
韓 国	夜、外出しないようにしている	59.6	66.1	66.2	51.2	53.5
	栄養のバランスを考えて食事を作る	19.3	12.6	18.3	23.8	22.6
	睡眠がとれるように寝ている間は静かにする	34.8	31.8	33.8	33.3	40.5
	勉強のじゃまにならないようにテレビの音など気をつける	30.2	23.7	30.0	31.7	34.4
	子どもが勉強している間は一緒に起きている	18.2	17.4	17.4	19.0	21.7
	勉強がうまくいくように神や仏に祈る	26.0	21.1	25.7	48.8	26.3
	家の手伝いをさせない	6.1	7.1	5.2	9.8	6.5
	夜食を作ってあげる	6.9	1.8	7.1	16.7	8.7

「いつもそうしている」割合
○は最大値

(図33) 子どもへの配慮 × 大学卒

→ 韓国の母親はさまざまな配慮



3. 学歴の値打ちと生き方

1) 一流大学卒の肩書きの値打ち

これまで母親の「学歴観」や「進学期待」を通して、日韓の意識の違いを考察してきた。次に、いわゆる「一流大学卒業」という肩書きの値打ちが子どもたちが大学を卒業する頃にはどうなっていると思うか、母親たちの気持ちを検討したい。

表45によると、日本の母親の大半は学歴を

問わず、「今と変わらない」との意見が多く、むしろ大学卒の25.2%は「やや値打ちが下がる」と答えている。

そこで、図34に「今よりぐんと+かなり値打ちがでる」と答えた割合を日本と韓国の母親の学歴別に対比してみた。

中学卒の母親は日本の5.0%に対し韓国28.2%、高校卒は日本3.2%で韓国34.4%、短大・専門学校卒の場合、日本1.7%、韓国

28.5%、そして大学卒は日本3.6%、韓国39.5%である。特に韓国の大学卒の母親が学歴の効用を高く評価していることがわかる。

このように、韓国の母親が「一流大学卒業」の値打ちがこれからも上がると思っていることが、これまで考察してきた子どもに対する「成績意識」「学歴観」や「進学期待」などのすべての態度の根底になっているので

はないだろうか。

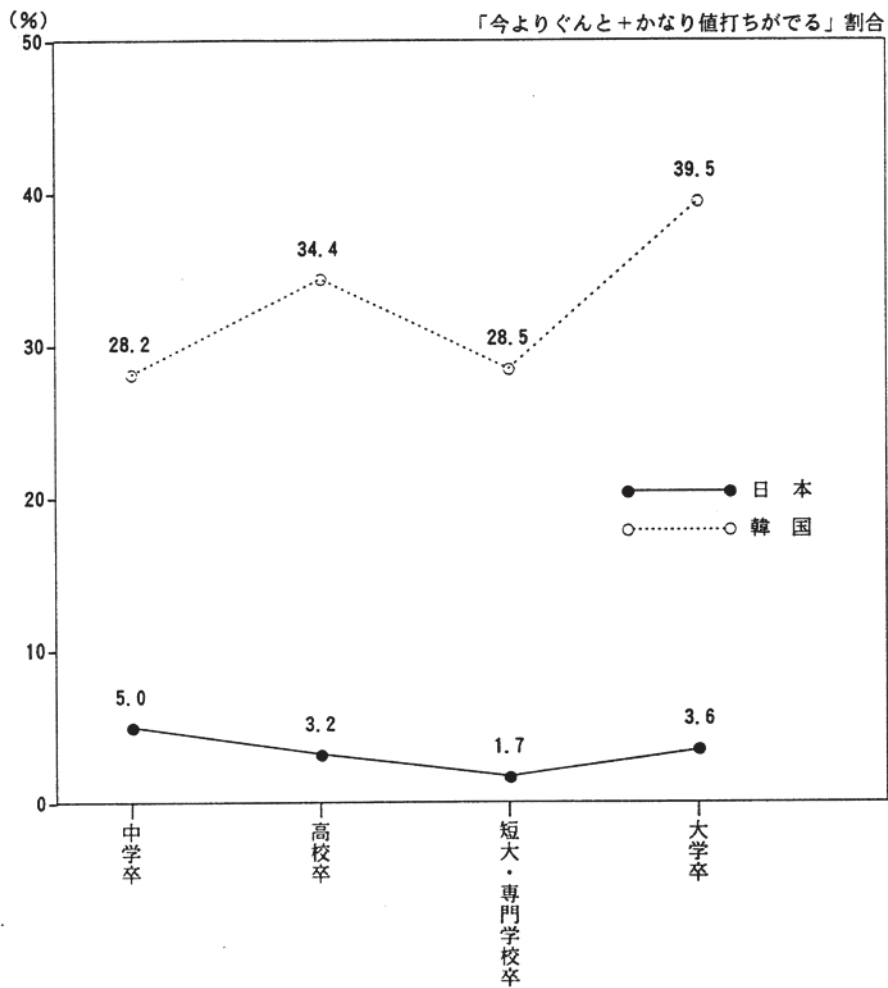
日本の場合、大学進学率が約4割に達し、高度な高学歴化社会を迎えている。そして大学進学は「差をつける」というより「差をつけられない」ためのものになりつつある。それだけに日本の母親は学歴の効用に否定的だが、韓国ではまだ十分に学歴に信頼をおけるのであろう。

(表45) 一流大学卒の肩書きの値打ち × 学歴

		(%)				
		全 体	中学卒	高校卒	短大・ 専門学校卒	大学卒
日 本	今よりぐんと値打ちがでる	1.2	0.0	1.3	0.7	1.8
	かなり値打ちがでる	1.6	5.0	1.9	1.0	1.8
	やや値打ちがでる	4.2	5.0	5.2	3.7	1.8
	今と変わらない	60.8	65.0	60.1	59.7	58.3
	やや値打ちが下がる	23.6	20.0	23.5	24.8	25.2
	かなり値打ちが下がる	6.9	0.0	6.3	9.1	8.6
	まったく値打ちが下がる	1.7	5.0	1.7	1.0	2.5
韓 国	今よりぐんと値打ちがでる	12.2	10.0	10.9	7.1	13.6
	かなり値打ちがでる	23.2	18.2	23.5	21.4	25.9
	やや値打ちがでる	18.8	17.3	19.7	33.4	16.4
	今と変わらない	27.6	30.9	27.6	26.2	28.2
	やや値打ちが下がる	14.9	20.9	14.8	9.5	11.8
	かなり値打ちが下がる	3.1	2.7	3.0	2.4	4.1
	まったく値打ちが下がる	0.2	0.0	0.5	0.0	0.0

○は最大値

(図34) 一流大学卒の肩書きの値打ち × 学歴



2) もう一度女性に生まれ変わったら

最後に母親たちに「もし、もう一度女性として人生を送れたら、どんな生き方をしてみたいと思うか」を尋ねた。

表46を、日本と韓国の大学卒の母親に着目して図化したのが図35(A)である。「親を大事にして、家族、親戚と仲よくする」「常に自分を磨き、教養豊かな母親になる」「仕事を持ち自立した女性になる」などは、日韓共通の生き方としてとらえられている。しかし、「専業主婦としてよき妻、やさしい母親になる」では、日本13.4%<韓国33.7%と、二国間の意識に開きがあることがわかる。

また図35(B)に、「中学卒」の母親の比較を示したが、図からも明らかなように、「専業主婦としてよき妻、やさしい母親になる」の項目は、他項目の日韓差よりは、日本27.5%<韓国59.1%と、大きいことが目につく。

これらの違いは、日本と韓国の専業主婦に対する文化の違いのように思われる。韓国では専業主婦の生き方が大事にされ、女性たちもそれを受容しているのであろう。

それに対し、日本の母親たちは、もう一度女性として人生を送れるとしたら、「自己啓発」や「自立した女性」というコンセプトをもち、自分の生活をもったうえで母親自身として生きていこうとしているように思われる。

(表46) もう一度女性に生まれ変わったら × 学歴

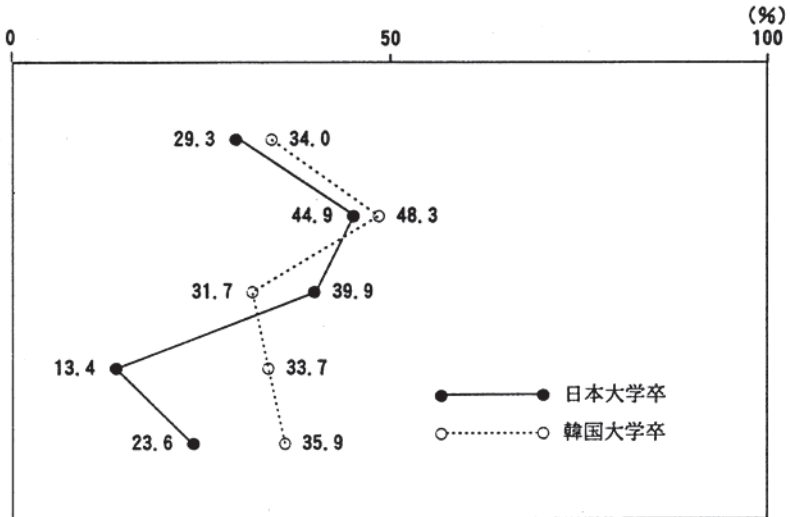
		(%)				
		全体	中学卒	高校卒	短大・ 専門学校卒	大学卒
日 本	親を大事にして、家族、親戚と仲よくする	31.7	47.5	33.2	29.1	29.3
	常に自分を磨き、教養豊かな賢い母親になる	29.0	37.5	23.9	28.8	44.9
	結婚後も仕事を持ち、経済的に自立した女性になる	22.9	22.5	19.0	20.6	39.9
	専業主婦としてよき妻、やさしい母親になる	15.4	27.5	16.0	14.8	13.4
	高い学歴を身につけ、男性と同じように社会で活躍する	11.3	12.5	7.3	11.0	23.6
韓 国	親を大事にして、家族、親戚と仲よくする	43.6	56.8	44.1	43.9	34.0
	常に自分を磨き、教養豊かな賢い母親になる	53.4	50.0	56.5	51.3	48.3
	結婚後も仕事を持ち、経済的に自立した女性になる	31.4	25.7	32.6	35.0	31.7
	専業主婦としてよき妻、やさしい母親になる	48.2	59.1	53.1	40.0	33.7
	高い学歴を身につけ、男性と同じように社会で活躍する	35.4	27.1	36.5	39.0	35.9

「ぜひそうしたい」割合
○は最大値

(図35) もう一度女性に生まれ変われたら × 学歴

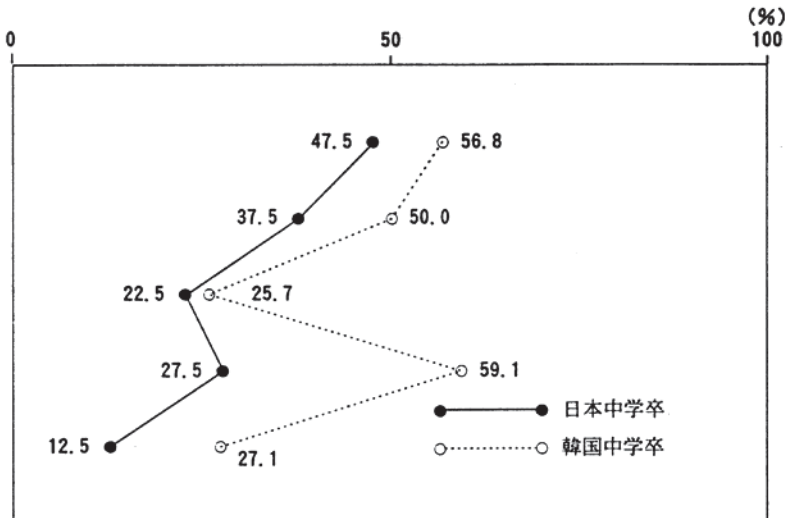
(A) 大学卒の比較

- 親を大事にして、家族、親戚と仲よくする
- 常に自分を磨き、教養豊かな賢い母親になる
- 結婚後も仕事をもち、経済的に自立した女性になる
- 専業主婦としてよき妻、やさしい母親になる
- 高い学歴を身につけ、男性と同じように社会で活躍する



(B) 中学卒の比較

- 親を大事にして、家族、親戚と仲よくする
- 常に自分を磨き、教養豊かな賢い母親になる
- 結婚後も仕事をもち、経済的に自立した女性になる
- 専業主婦としてよき妻、やさしい母親になる
- 高い学歴を身につけ、男性と同じように社会で活躍する



「ぜひそうしたい」割合